

# MMJ

## 地域の多分野の学生・院生 及び社会人の情報交換会



毎月1回行っている交流会の様子



交流会は立食スタイルで気軽な雰囲気



副代表を務める石井

### 活動内容

毎月1回の交流会を開催しています。地域の学生や社会で活躍している人が自発的に集まってきます。立食スタイルの気軽な場で、「自分の今していること、やりたいこと」・「自分の専門・得意分野」について、活発に情報交換がなされています。参加人数は毎回20名規模です。そのうち6割は、初めて参加するメンバーですので、いつ参加しても十分に交流を楽しめます。また年齢層も学部1年生から、社会人学生、若手社会人と広いため、興味や取り組みが互いに新鮮であり、刺激となっているようです。会の前半では、参加者全員が自己紹介をかねて興味分野について3分間のスピーチや、ゲストスピーカーから『学生諸君へ』という若い人向けのメッセージをお話し頂いています。その後は、自由な交流会に流れ込みます。会場内のあちこちで酒を交えて活発な情報交換がなされています。会自体は2時間程度の会なのですが、閉会後もめいめいに話し込む姿が見られたりして、いつまでやるの?という感じだったりもします。参加者のみなさんにとってMMJとは、個々の問題意識や、やりたいことの種を発散させるため、それを話しあう場や発想が引き出される環境を求めて参加している人が多いようです。

MMJは、異なる分野の情報や人材との交流刺激を受け、形にできなかった心に持っている「何か」を萌芽させているのではないかと思います。もう一つの活動は、参加者のみが登録されるメーリングリストです。ここでは情報発信・情報共有・アイデアやプランについて意見交換がなされます。このメーリングリストでは、今まで知りえることができなかった、横の情報が流れ、この場でも新たな情報を得ることができています。

### 始めたきっかけは?

この地域には、非常に多くの学生がいるので、『もっと多くの分野の人材が交流して、新しい取り組みや学問の専門をこえたグループができたならおもしろいんじゃないか』というシンプルな思いから、東北大学の経済と工学の院生が中心となって、縦横無尽な繋がりを求めて始めたものです。

この会を始めた代表の鈴木(東北大学・経済学研究科)、副代表の石井(東北大学・工学研究科)は以下のように考えています。

「シリコンバレーでも自発的に行われている、人と人のゆるやかなつながり」のようなもの。例えば、何かをやりたいと思ったときに、あのときのあの人に連絡してみようと思える、そんなつながりができれば幸いです。(鈴木)

「アメンバー的なネットワーク。集合・離散はまったく自由のゆるいつながり。そこから、「~したい!」という人が賛同者を得て、分科会・研究会や、新しい団体に発展する、そういう機会を提供する場。」(石井)

### 今後目指すもの

ゆるいつながり、情報発信、異分野人材の相互刺激の場をベースに、現在のスタイルの情報交換会と、メーリングリストでのつながりを続けていきます。このつながりの中から、新しく何かを創りたい・やりたい、という人がいれば、具体的なつながりを手助けしてゆければと思っています。

起業したい人を陰ながら支援する裏方のように、若い人材の持つ潜在能力を活性化できる場を提供することを目指していきたいと思います。

### 連絡先

『MMJ』(エムエムジェー)

代表者: 鈴木 秀顕 東北大学経済学研究科

URL: <http://mmmj.jp/>

メール: [rkie.shi@most.tohoku.ac.jp](mailto:rkie.shi@most.tohoku.ac.jp) (石井)